

韓国青年訪日団（オンラインプログラム）の記録 （対象国：韓国、 テーマ：東京オリンピック・パラリンピック韓国ホストタウン視察）

1. プログラム概要

在大韓民国日本国大使館にて選抜された発信力のある韓国の大学生・大学院生・社会人等10名を対象に、「東京オリンピック・パラリンピック韓国ホストタウン（京都府京丹後市・山形県寒河江市）視察」をテーマに2月6日から4月10日にかけて計3回のオンラインプログラムを実施しました。講義聴講、ホストタウンからの中継、同世代交流・討論等を通じて、日本及びホストタウン各地の文化・社会に対する理解を深めるとともに、韓国における東京オリンピック・パラリンピックの広報及び対日理解の促進、今後の日韓間の相互理解と信頼関係の基盤強化に寄与するために、各々の関心事項や体験等についてSNSを通じて積極的に対外発信を行いました。

また、本事業では、オフラインプログラムへとつなぐべく、参加者を2つのグループに分けて、「東京オリンピック・パラリンピックの韓国ホストタウンである京丹後市と寒河江市をいかに広報するか」をテーマにした企画プロジェクトを課しており、まずは各市に関する調査を実施して発表し、実際の訪日が発現した場合には各プロジェクトに沿った内容で韓国ホストタウンを取材し、その成果を訪日後に発表することになっています。オンラインプログラムでも、その一環として両市の担当者と意見交換する機会を設けました。参加者一同、実際に訪日できる機会に期待を寄せながら、本プログラムに意欲的に参加しました。

【参加国・人数】

韓国11名（引率1名、団員10名）

【オンライン視察地】

京都府京丹後市、山形県寒河江市

2. 日程

2月6日（土）

【オリエンテーション】主催者挨拶、日程説明、団員自己紹介等

【交流】訪日時に交流予定の同世代との交流・討論

3月6日（土）

【東京オリンピック・パラリンピック韓国ホストタウンからのオンライン生中継】

①京都府京丹後市、②山形県寒河江市（各市の概要・ホストタウンになった経緯等説明）

【意見交換】東京オリンピック・パラリンピック韓国ホストタウンを韓国内でいかに広

報するか

4月10日(土)

【講義聴講】外務省「最近の日韓関係について」

【交流】①日本の学生による「福島の魅力」発表及び質疑応答、②東日本大震災被災地視察プログラムに参加した韓国人学生の体験談及び質疑応答
オンラインプログラムのまとめ

3. プログラム記録写真

(オンライン視察地：京都府京丹後市、山形県寒河江市)

<p>2月6日【オリエンテーション】 日程, 테마, 各中継先等の説明</p>	<p>2月6日【交流】 訪日時に交流予定の同世代との交流・討論</p>
<p>3月6日【オンライン視察】 京都府京丹後市 (市の概要等紹介)</p>	<p>3月6日【オンライン視察】 山形県寒河江市 (ホストタウンになった経緯等説明)</p>
<p>4月10日【交流】日本の学生による「福島の魅力」発表及び質疑応答</p>	<p>4月10日【交流】東日本大震災被災地視察プログラムに参加した韓国人学生の体験談及び質疑応答</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学院生

東京オリンピック・パラリンピックの開催については知っていても、韓国選手団のホストタウンについては正直あまり情報がなかったので、今回のオンラインプログラムは大変参考になった。新型コロナウイルスの状況ではあるが、せっかくのご縁をこのまま終わらせることなく、是非実際に訪日して、ホストタウンのこともしっかり取材し、韓国の皆さんに伝える活動をしたい。

◆ 韓国 大学生

新型コロナウイルスにより渡航がままならない中、このようなプログラムを実施していただいたことに感謝する。京丹後市も寒河江市も韓国では全然知られていない都市がいきなり韓国との縁を結び、ホストタウンにまでなったのか、各市のご担当者から直接うかがうことができ、大きな学びとなった。また、福島出身の学生による福島のプレゼンと質疑応答も大変興味深く聞くことができ、福島への誤解や偏見があったことを改めて感じさせられた。

◆ 韓国 大学生

ホストタウン両市のこと、外務省の講義を通じて改めて認識した日本側の立場、福島のこと等、毎回新たな学びが多く感謝申し上げたい。プレオンラインプログラムを通じて、実際の訪日への期待が高まった。

5. 受入れ側の感想

◆ オンライン視察先関係者（京丹後市）

私たちが韓国のホストタウンに手を挙げたきっかけは、高校生のカヌー競技交流から始まった交流がきっかけとなっており、それらが縁となって、今回のプログラムに京丹後市が参加することになったが、オンラインとはいえ皆さん真摯に取り組む様子がわかり、実際にお迎えしたいという思いにもなった。このような出合いを大切に、交流から広まった輪が大きく広がって欲しいと願っている。

◆ オンライン視察先関係者（寒河江市）

寒河江市では、1974年に韓国慶尚北道安東市との姉妹都市締結後、官民一体となって交流が重ねられ、東京オリンピックにおける韓国のホストタウンとして、これまでスケートボード競技の強化合宿などが行われてきた。今回のオンラインプログラムでは、寒河江市の紹介やこれまでの姉妹都市交流、ホストタウンに関する説明を行い、学生たちからはスケートパークに関する質問や特産品のさくらんぼに関する質問が多く寄せられた。皆さんにはホストタウンとしての取り組みについて学んでもらうとともに、さくらんぼを含む寒河江のいいものをたくさん知っていただき、多くの方々へ発信していただければと願っている。皆さんが、寒河江を満喫してもらえる日が来ることを心待ちにしている。

6. 参加者の対外発信



♡ 🔍 📌

k4y_june 지난 3월 6일 토요일, 저희 일본문화원 리포터 6기의 도쿄 올림픽 2020의 호스트타운 교탄고시(京丹後市)와 사가에시(寒河江市)의 설명회가 있었습니다. 🍌🍌🍌

'올림픽 호스트 타운'은 올림픽 대표팀의 현지적응을 돕는 역할의 지방 자치 도시를 가르킵니다.

특히 이 날 설명회를 갖은 두 도시, 교탄고시와 사가에시는 각각 대한민국 카누 대표팀과, 스케이트 보드팀의 호스트 타운으로서 올림픽을 앞둔 몇해전부터 대한민국 올림픽 대표팀과 그 관계자와의 교류를 이어왔다고 하는데요! 🏹🏹

호스트 타운측은 대표팀에 성대한 환대와 현지 문화 적응 프로그램을, 우리 대표팀은 초중고교 학생들과 지역 시민을 대상으로한 교육 및 교류를 매년 진행해왔다고 합니다. 🍌

이 날은 두 지역의 시청 관계자분들의 온라인 화상 회의를 통해 직접 두 도시의 매력을 전달 받는 시간이었습니다. 본 회의는 일본어로 진행 되었지만 감사하게도 통역분께서 함께 배석하여 큰 어려움 없이 이해할 수 있었습니다. 🍌

최고(最古)의 해안온천과 먹을것으로 가득한 교탄고시와, 일본 전역서 유명한 체리와 빼어난 자연환경의 사가에시!

두 도시의 다양한 매력을 현지 관계자 분들께 직접 듣고 그 매력에 푹 빠질 수 있던 시간 이였는데요.

현재는 코로나로 인해 쉬이 찾아갈 순 없지만 발표를 들으며, 지금이라도 떠나고 싶던 두 도시, 교탄고시와 사가에시!

앞으로도 그 매력을 전달해드리고자 노력하겠습니다~ 🍌

교탄고시?



지명의 유래

교탄고시의 지명은 '단고국(丹後国)'에서 유래했으며, 713년부터 일본의 지방 행정 구분에 속해있었습니다. 1900년대 중후반에 지역명 대입병에 의해 '단고(丹後)'에서 '교(京)'를 더해 '교탄고(京丹後)'가 되었습니다.

호스트타운

호스트타운은 올림픽 패럴림픽을 지역 활성화와 발전으로 연결하기 위해 일본 정부가 참가 각국과 교류하는 지자체를 '호스트타운'으로 등록하는 것입니다. 교탄고시는 고트부림 구미야마 고등학교가 한국의 서명고등학교와 2004년부터 카누로 상호 교류를 하고 있는 인연으로 도쿄 올림픽의 한국 호스트타운으로 지정되었어요.



한글 소개장
도쿄 올림픽 호스트타운 사가에시 (寒河江市)
대한민국 스케이트 대표팀의 호스트 타운 사가에시를 만나다~
#JENESYS2020
#일본문화원리포터6기
#일본문화원리포터6기
우려없이 만는 사가에시 홍보자료
열심히 빚겨서 내용 확인해주세요!

京丹後市と寒河江市について学んだ内容について発信

3월 6일 토요일, 도쿄 올림픽 2020의 한국 호스트타운인 京丹後市와 寒河江市에 대한 프레젠테이션이 있었습니다. 두 도시 각각은 각각의 카누와 스케이트보드 선수단의 호스트타운이며, 수년 전부터 각각의 스포츠의 한국 올림픽 대표 선수 및 관계자들과, 초·중·고등학생 등 지역 주민들 사이에서 다양한 교류를 계속해왔을 것입니다.

이 날은 京丹後市와 寒河江市의 두 도시에서 관계자들이 온라인으로 각각의 도시의 매력에 대해 소개해 주셨고, 그 매력에 푹 빠져버렸습니다.

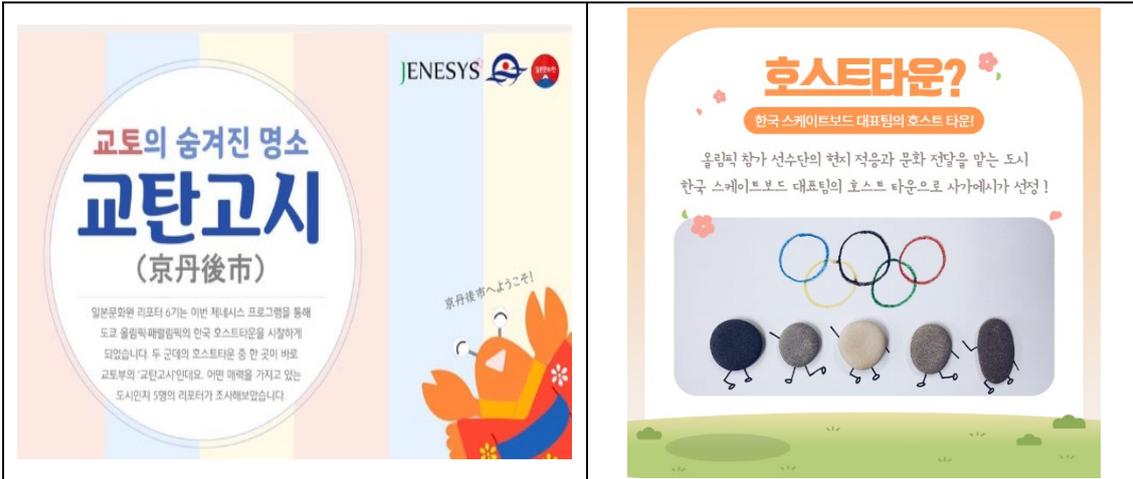
현재는 코로나로 인해 쉽게 방문할 수 없지만 발표를 들으며, 지금이라도 떠나고 싶은 두 도시, 京丹後市와 寒河江市! 그 매력을 앞으로도 전해줄 수 있도록 노력하겠습니다.

京丹後市と寒河江市の紹介について発信

(上) 京丹後市とは? : 地名は、かつて「丹後国」と呼ばれていたことに由来する。近代になって周囲町村との合併を繰り返し、今では「丹後」に「京」を付け加え、「京丹後市」となった。京丹後市の久美浜高等学校と韓国のソリョン高等学校の間で 2004 年からカヌーによる交流が始まったことが縁となって、東京オリンピック韓国カヌー代表選手のホストタウンとなった。

(下) 東京オリンピック・ホストタウン寒河江市 : 韓国のスケートボード代表選手のホストタウンである寒河江市を、私たちが作った広報資料で紹介します。
#JENESYS2020, #日韓交流, #韓国青年訪日団, #日本公報文化院レポーター

7. グループ別プロジェクトの調査結果発表



本事業では、参加者を2つのグループに分けて「東京オリンピック・パラリンピックの韓国ホストタウンである京丹後市と寒河江市をいかに広報するか」をテーマにした企画プロジェクトを課しており、オンラインプログラム期間中に、まずは各市に関する調査を実施して発表し、実際の訪日が実現した場合には各プロジェクトに沿った内容で韓国ホストタウンを取材し、その成果を訪日後に発表することになっている。

添付した資料は、参加者が各市について調査した内容を、SNSで発信しやすいようにまとめたものの一部で、参加者はこれらの資料を活用して積極的にSNSで情報発信をした。

また、参加者たちは、京丹後市と寒河江市の事業担当者との意見交換の場で、訪日時の広報協力及び再会の約束を交わし、プログラム終了時には、参加者はもちろん、両市の担当者からも、実施団体側へオフラインでのプログラム実施を期待する声が寄せられた。参加者の声を一例ではあるが、この場で紹介する。

- ・日韓共に新型コロナウイルスのワクチンによる集団免疫が造成され、一日も早く実際の訪日を果たして両市に取材しに行きたい。
- ・オンラインで築いた京丹後市と寒河江市とのせつかくのご縁を維持し続けるためにも、オンラインで終わるのではなく、オフラインにつなげていきたい。
- ・韓国との交流がある両市は韓国でもあまり知られていないので、東京オリンピック・パラリンピックが終わった後でも、是非取材に行って韓国に皆さんに広報していきたい。

事業実施団体：公益財団法人 日韓文化交流基金